



広 報 資 料

平成31年4月17日
午後3時発表

問い合わせ先

第一管区海上保安本部

海洋情報部 監理課長 坂本平治

0134-27-0118 (内線 2510)

海洋状況表示システム（愛称：海しる）の運用開始について

～海の様々な情報を自由に組み合わせて自分流にアレンジできます～

海上保安庁では、関係機関が収集・保有している衛星情報や海上気象などの海洋に関する情報を集約し、地図上で重ね合わせて表示できるウェブサービス「海洋状況表示システム（愛称：海しる）」の運用を平成31年4月17日（水）に開始しました。

1. 海洋状況表示システムは、海のこと知るためのシステムとして、「海しる」の愛称をつけております。海しるでは、前身のシステムである「海洋台帳」と比較して衛星情報や海上気象などの日々変化する情報も重ね合わせて表示することが可能となります。情報数は従来から約2倍の200以上となっています。（システムの概要につきましては別添リーフレットをご覧ください）
2. 第一管区海上保安本部の情報海氷情報センターからは海氷速報（海氷分布図）の情報も提供いたします（資料1参照）。
「海しる」を使って皆さんの自由な発想でさまざまな情報を重ね合わせて表示することにより、自分だけの地図を作ることができますのでご活用ください。

【参考】

政府では第3期海洋基本計画の下、我が国の海洋に関する様々な事象を把握するため海洋状況把握（MDA）の能力強化に関する取組を進めております。MDAとは、海洋の安全保障、海洋環境保全、海洋産業振興・科学技術の発展等に資する海洋に関連する多様な情報を、取扱等に留意しつつ効果的な収集・集約・共有を図り、海洋に関連する状況を効率的に把握することを意味します。

この取組の一環として、海上保安庁では、関係省庁や海洋関係機関等が保有する海洋に関する情報を一元的に重ね合わせて表示する海洋状況表示システムを平成31年4月17日に運用開始しました。

背景

平成28年7月の総合海洋政策本部決定及び平成30年5月閣議決定された第3期海洋基本計画に基づき、海上保安庁では、我が国の海洋状況把握（MDA）の能力強化に向けた取組の一環として、海洋情報を集約・共有するための情報サービス「海洋状況表示システム」（海しる）を運用しています。「海しる」は、海上安全、自然災害対策、海洋環境保全、海洋産業振興といった様々な分野での活用を目的として、内閣府の総合調整のもと、関係府省及び政府関係機関が保有する様々な海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせて表示できるよう構築した情報サービスです。

※MDA：Maritime Domain Awarenessの略。関係政府機関の連携を強化し、国の防衛、安全、経済、環境に影響を与える可能性のある海洋に関する事象を効果的に把握する取組のこと。

関係省庁・機関

内閣官房	国立研究開発法人防災科学技術研究所
内閣府	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
文部科学省	国立研究開発法人海洋研究開発機構
農林水産省水産庁	大学共同利用機関法人
経済産業省資源エネルギー庁	情報・システム研究機構国立極地研究所
国土交通省	国立研究開発法人水産研究・教育機構
国土交通省国土地理院	国立研究開発法人産業技術総合研究所
国土交通省気象庁	国立研究開発法人
国土交通省海上保安庁	新エネルギー・産業技術総合開発機構
環境省	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
防衛省	国立研究開発法人国立環境研究所

ご利用の前に

「海しる」は Internet Explorer 11、Google Chrome で正常に動作することが確認されています。ご使用のブラウザによっては一部機能の利用に制限がある場合がございます。詳細については操作説明書をご確認ください。

また、ご所属の組織によっては、独自のセキュリティが設定されている場合がございます。動作確認済みのブラウザにもかかわらず正常に動作しない場合には、ご所属の組織のシステム管理者にセキュリティの設定状況をご確認ください。

お問合せ先

「海しる」についての問合せ

海上保安庁海洋情報部
〒100-8932
東京都千代田区霞が関3-1-1
中央合同庁舎第4号館
E-mail kaiyogis@jodc.go.jp
URL <https://www.msil.go.jp/>

海洋状況把握（MDA）についての問合せ

内閣府総合海洋政策推進事務局
〒100-8914
東京都千代田区永田町1-6-1
霞が関東急ビル16階
Tel 03-6257-1767
URL <https://www8.cao.go.jp/ocean/>

海の今を知るために



海洋状況表示システム
<https://www.msil.go.jp/>

内閣府総合海洋政策推進事務局
海上保安庁

「海しる」とは



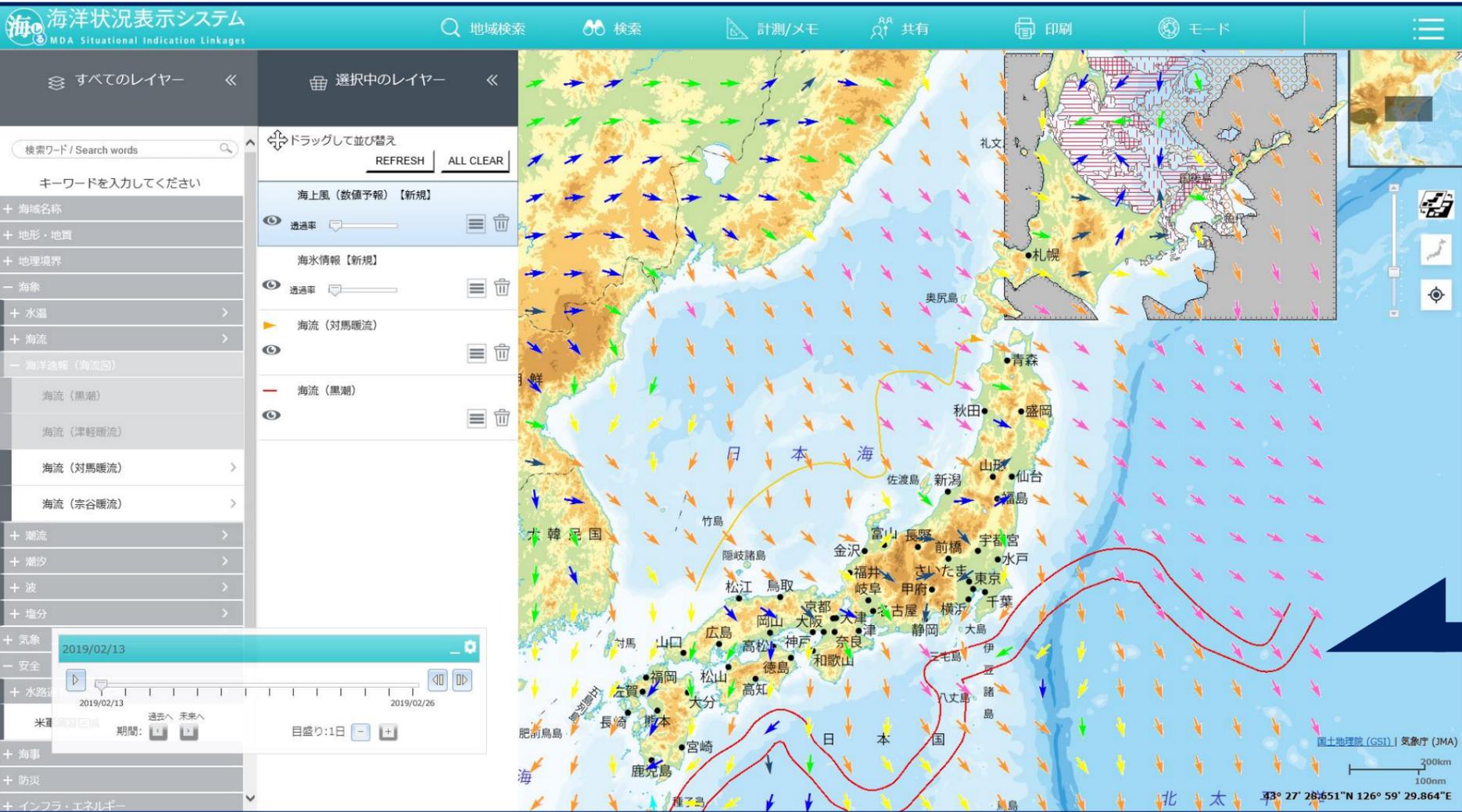
「海洋状況表示システム」(海しる)は、“海の今を知るために”さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせ表示できるようにした情報サービスです。政府及び政府関係機関が収集・提供している海洋情報を一元的に利用いただくことができます。日本の周辺海域のみならず、衛星情報を含む広域の情報を掲載するとともに、気象・海象のようなリアルタイムの情報も掲載しています。船舶の運航管理や漁業、防災、海洋開発といった利用シーンを想定していますが、用途はそれだけに限りません。皆さんの自由な発想で、さまざまな海洋情報を組み合わせた自分だけの地図を作ってみましょう。



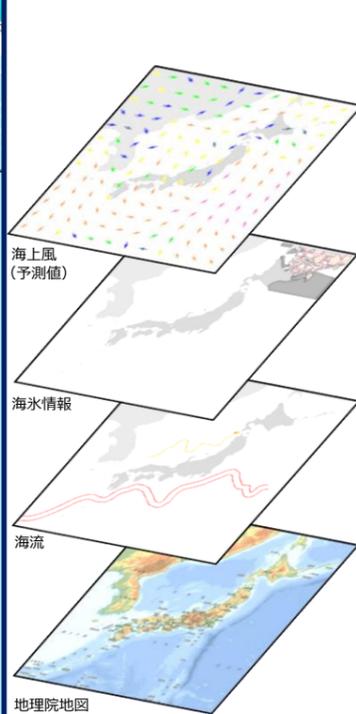
掲載情報

- 海洋に関連するさまざまな情報を集約!
- 掲載情報は200項目以上!
- 広域性・リアルタイム性の高い情報も充実!

- 海域名称**
島名、海域名、海底地形名
- 地形・地質**
水深、底質、海底地質図
- 地理境界**
市区町村界、直線基線、領海外縁線
- 海象**
水温、海流、潮流、潮汐、波、塩分、海水
- 気象**
天気図、風、落雷、気象・海象観測情報、気象衛星画像、船舶気象通報
- 安全**
航行警報、水路通報(小改正を除く)、米軍演習区域、海上分布予報
- 海軍**
海上保安部署等、灯、港則法適用港、港湾、漁港、海交法航路、港則法航路、沈船、海底障害物、指定錨地、検疫錨地、水路測量特級区域、船舶通航量
- 防災**
強震動情報、海域火山DB、海底地殻変動情報、津波防災情報図図郭、海岸線種類(環境脆弱性指標)、ESIマップエリア、排出油等防除計画資料、海岸アクセス道
- インフラ・エネルギー**
海底輸送管、海底ケーブル、海上構造物、取水施設(取水口)、火力発電所、洋上風力発電(実施・計画)、洋上風力ゾーニング基礎情報
- 海洋生物・生態系**
自然環境保全地域、ラムサール条約登録湿地、ウミガメ産卵地、海獣類生息地、哺乳類生息地、鳥類生息地、鳥獣保護区(国指定)、マングローブ、湿地、藻場、干潟、珊瑚礁、閉鎖性海域、生物等の脆弱性評価
- 水産**
漁業権区域、保護水面
- 海域利用**
海水浴場、潮干狩り場、マリーナ
- 海域保全**
史跡、名勝、天然記念物、国立公園、国定公園、海域公園、投棄区域、海岸保全区域、低潮線保全区域、海ゴミ
- 航空写真等**
航空写真、港湾写真、海岸写真
- 経緯度・グリッド**
経緯度線、経緯度メッシュ、標準地域メッシュ、東京湾グリッド、UTMグリッド
- 背景図**
地理院地図、海底地形図、白地図、公共地図



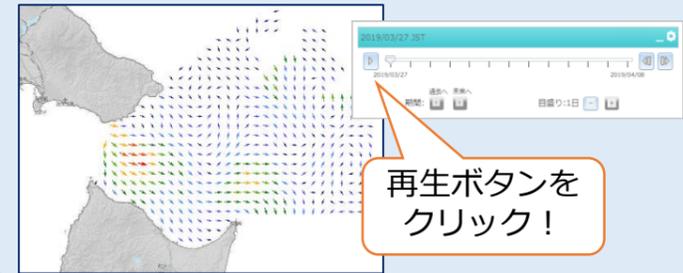
<https://www.msil.go.jp/>



情報を選択し、地図上に重ね合わせ

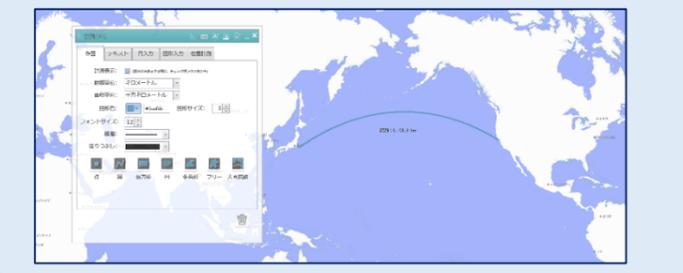
① アニメーション表示

「海しる」では、現在の情報だけでなく、未来と過去の情報も見ることができます。タイムスライダーを操作して、重ね合わせたリアルタイム情報を時間移動させたり、アニメーション表示させることができます。



② 計測・作図

地図上で距離や面積を計測したり、図形やテキストを入力することができます。作成した図形はファイルに保存することもできます。また、大圏航路(測地線)に沿った作図・距離計測にも対応しています。



③ テーマ別マップ

マリレジャー、漁業等の利用シーンに合わせて、必要な情報がすぐに見られるよう、ワンクリックで利用できるテーマ別マップを用意しています。

Thematic Maps

利用目的に合わせて機能の選択されたマップを表示します。

海洋レジャー Marine Leisure ■ マリーナ ■ 海水浴場 ■ 潮干狩り場 ■ 深場 ■ 船舶通航量 ■ 漁業権区域	港湾管理 Port Management ■ 水深 ■ 航路 ■ 船舶通航量 ■ 魚業権区域	水産 Fisheries ■ 水深 ■ 潮流 ■ 海流 ■ 海面水温
環境保全 Environmental Conservation ■ 環境 ■ 航路 ■ 等深線 ■ 電磁動特性指標(ESI)	海洋開発 Ocean Development ■ 等深線 ■ 航路 ■ 国立公園 ■ 洋上風力発電(実施・計画)	油 油防除(CeisNet) Discharge Oil Control ■ 防除資機材 ■ 取水施設 ■ 港湾写真 ■ 火力発電所 ■ UTMグリッド ■ 電磁動特性指標(ESI) 等

使いたいシーンをクリック!

